

第13回久留米総合病院地域連絡協議会 議事概要

【日 時】：令和7年11月28日

【議 題】：令和6年度事業報告

【協 議】：書面による協議

【概 要】

1. 連絡協議会設置要綱について
2. 令和6年度の取り組みについて

第13回 地域連絡協議会

令和6年度事業報告

独立行政法人地域医療機能推進機構
JCHO（ジェイコー）久留米総合病院

令和7年11月28日



独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院

第13回 地域連絡協議会 議事次第(書面協議)

- 1 連絡協議会設置要綱について . . . 資料①

- 2 令和6年度の取り組みについて
 - ・ 基本情報 . . . 資料②
 - ・ 医療政策の取り組みについて . . . 資料③
 - ・ 診療活動の記録 . . . 資料④
 - ・ Kics (Kurume Integrated Care System) における
 当院の取り組みについて . . . 資料⑤
 - ・ 久留米警察署からの協力依頼 . . . 資料⑥
 - ・ 地域住民への教育・研修 . . . 資料⑦
 - ・ 救急搬送患者数 . . . 資料⑧
 - ・ 手術症例件数 (全身麻酔) 推移 . . . 資料⑨
 - ・ 化学療法件数 . . . 資料⑩

独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院地域連絡協議会設置要綱①

(設置)

第1条 独立行政法人地域医療機能推進機構法第20条の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院（以下「久留米総合病院」という。）に久留米総合病院地域連絡協議会（以下「地域連絡協議会」という。）を設置する。

(目的)

第2条 久留米総合病院は、地域医療・地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応えるため、地域連絡協議会を開催し、病院の利用者その関係者の意見を聴取し、運営の参考とすることを目的とする。

(構成員)

第3条 地域連絡協議会の構成員は次のとおりとする。

- (1) 病院代表（病院長）
- (2) 行政（久留米市、久留米市保健所、久留米広域消防本部）
- (3) 久留米医師会
- (4) 連携医療機関
- (5) 学識経験者（弁護士）
- (6) 患者、患者家族代表者

2.委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

(開催)

第4条 地域連絡協議会は病院長が招集して開催し、議長となる。

2.地域連絡協議会には、必要ある時は、構成員以外の出席を求め、その者の意見あるいは説明を受けることができる。

3.地域連絡協議会は、原則として年複数回開催する。但し、構成員が必要と認めたときは、随時開催することができる。

(事務局)

第5条 地域連絡協議会の事務局は、総務企画課が担当する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、平成26年6月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

病院基本情報②

- 1.施設名：独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院
- 2.所在地：〒830-0013 久留米市櫛原町21番地
- 3.連絡先：☎0942-331211 ✉ main@kurume.jcho.go.jp
- 4.管理者：院長 牛嶋 公生（産婦人科）
副院長 松隈 則人（消化器内科）
副院長 亀井 英樹（外科）
副院長 山口 美樹（乳腺外科）
副院長 入部 直子（看護部長）
事務長 末永 久雄
- 5.稼働病床：急性期一般146床 地域包括ケア8床
- 6.診療科：呼吸器内科・消化器内科・内分泌代謝糖尿病内科・循環器内科・腎臓内科・腎臓外科・一般外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・産婦人科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・眼科・放射線科・精神科・総合診療科・女性総合診療科・救急科
- 7.併設施設：健康管理センター、介護老人保健施設
- 8.管理料の算定件数

管理料等の算定件数 (R6年度1ヶ月平均値)	薬剤管理指導料	506件	一般撮影	5,367件	C T撮影	593件	M R I撮影	173件
	検体検査	14,239件	微生物学的検査	346件	生理機能検査	3,532件	病理検査	594件
	栄養食事指導料	151件	心大血管疾患リハ	198件	脳血管疾患等リハ	90件	廃用症候群リハ	220件
	運動器リハ	1,703件	呼吸器リハ	220件	がん患者リハ	529件	医療機器安全管理料	3件

医療政策に対する取り組み③

当院では、5疾病5事業の指標として以下の取り組みを行っております。

【5疾病に対する取組】

1.脳卒中に対する取組

脳血管疾患等リハビリテーション

2.急性心筋梗塞に対する取組

心大血管リハビリテーション

3.糖尿病

教育入院を行う医療機関

【5事業に対する取組】

1.救急

救急告示病院・輪番体制病院・二次救急輪番病院

2.その他

新興感染症第一種、第二種協定指定医療機関・エイズ拠点協力病院・難病医療協力病院・臨床研修病院（協力型）・臨床試験（治験）第Ⅰ～Ⅲ相・医療安全対策室・専従・専任リスクマネジャー配置・専従医師事務作業補助者配置・電子カルテ・院外処方箋発行率85.9%

診療活動の記録(診療業務)④

当院は平成25年に救急告示病院の指定を受け、二次救急医療機関として数多くの救急患者を受け入っております。

また、がん治療にも特化しており外来化学療法は、年間3000人前後。乳がん手術は、年間360件を超え、県内1位の実績である。また乳がん治療として放射線治療も行っている。

令和4年度から6年度の診療実績は以下のとおりです。

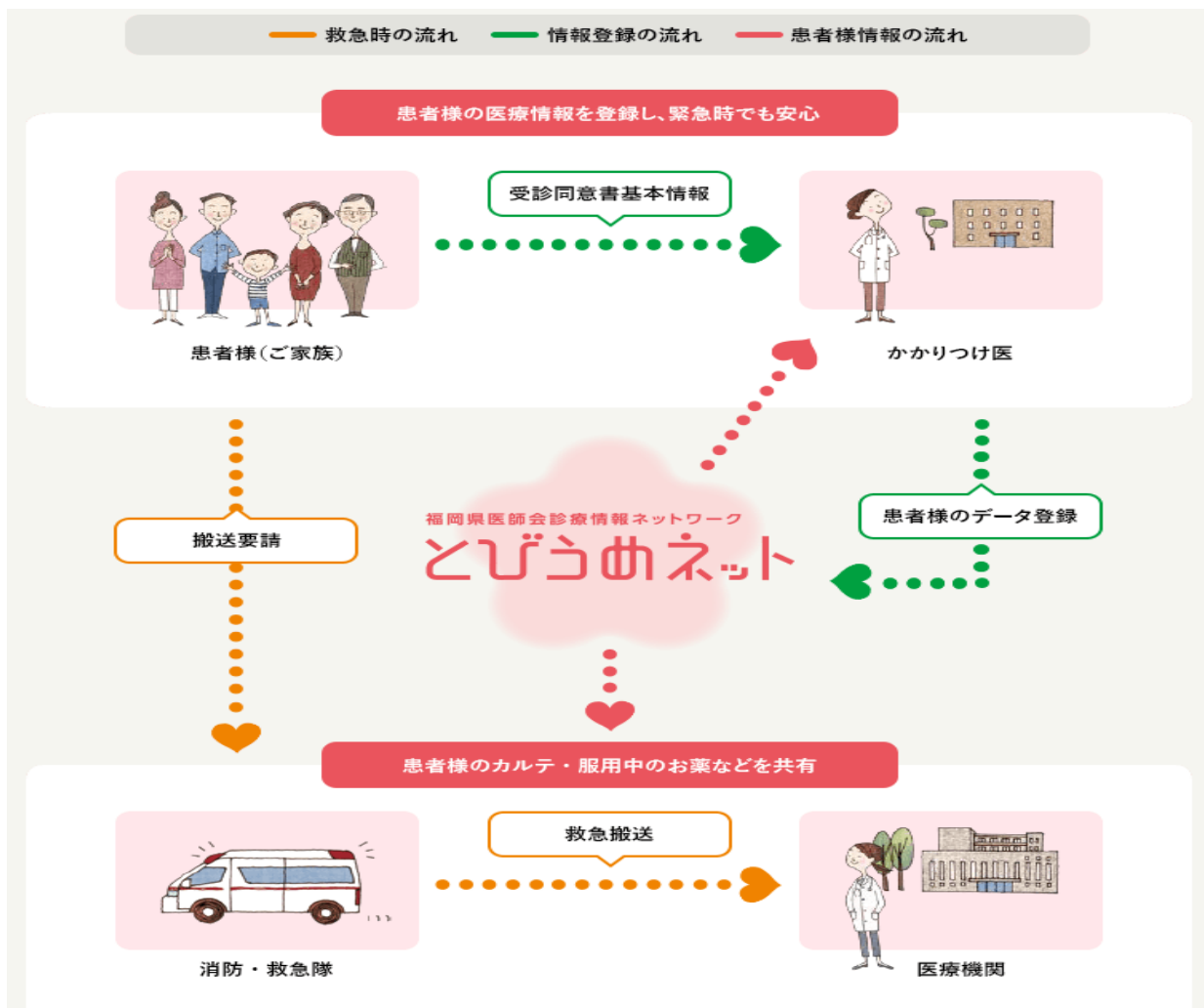
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
診療業務	入院	実働病床数(4月1日時点)	154 床	154 床	154 床
		1日平均入院患者数	112.8 人	116.1 人	123.3 人
		1日平均新入院患者数	8.9 人	8.8 人	8.9 人
		病床利用率	73.3%	75.4%	80.1%
		急性期病床	78.1%	75.5%	79.7%
		地域包括ケア病床	89.4%	77.4%	78.0%
		平均在院日数	12.6 日	13.2 日	13.9 日
		急性期病床	13.6 日	13.7 日	14.3 日
		患者一人当たり入院単価	59,725 円	57,279 円	56,245 円
		急性期病床	59,481 円	57,125 円	56,828 円
		地域包括ケア病床	52,705 円	59,357 円	45,017 円
	外来	1日平均外来患者数	305.2 人	291.7 人	284.9 人
		1日平均新外来患者数	33.3 人	27.8 人	24.1 人
		外来新患率	10.9%	9.5%	8.4%
		患者一人当たり外来単価	23,875 円	24,133 円	24,382 円
	紹介	紹介率	61.9%	72.6%	80.2%
		逆紹介率	48.7%	60.5%	67.7%
	救急	救急搬送依頼件数	1,730 件	1,630 件	1,565 件
		救急搬送患者数	1,398 人	1,512 人	1,401 人
		救急搬送応需率	80.8%	92.8%	89.5%
		救急搬送患者入院比率	29.9%	35.3%	39.6%
	手術	手術件数	2,901 件	3,065 件	3,079 件
		うち全身麻酔件数	1,434 件	1,314 件	1,456 件
	透析	透析件数	5,049 件	5,325 件	5,502 件
		うち入院	1,140 件	1,093 件	1,293 件
		うち外来	3,909 件	4,232 件	4,209 件
	訪看	訪問看護延件数	61 件	72 件	25 件
	健診	人間ドック、生活習慣病予防健診、定期健診等	20,356 件	20,736 件	20,775 件
		うち院内実施人数	14,482 件	14,871 件	15,363 件
		うち院外実施人数	5,874 件	5,865 件	5,412 件
		一人当たり健診単価※4	20,340 円	20,172 円	19,869 円
		契約健保組合数	939 件	54 件	47 件

診療活動の記録(介護)

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護業務	月末定員数(入所)※5	90 人	90 人	90 人
	入所延人数	28,245 人	27,749 人	30,012 人
	入所利用率	86.0%	84.2%	91.4%
	通所延人数	7,054 人	8,358 人	7,947 人
	通所利用率	60.5%	72.3%	68.4%
	在宅復帰率(老健)	57.2%	54.7%	52.1%
	平均在所日数(入所)	169.0 日	183.7 日	239.0 日
	利用者(入所+短期)一人当たり収入※6	11,710 円	11,940 円	12,469 円
	うち入所	11,589 円	11,805 円	12,376 円
	うち短期	13,334 円	14,042 円	14,476 円
	利用者(通所)一人当たり収入※6	10,209 円	10,126 円	10,234 円

KICS (Kurume Integrated Care System)における当院の 取り組みについて⑤ 【久留米地域包括システム構築拠点事業】

当院は久留米医師会と協働し久留米市中央部（南薫、日吉、長門石、篠山、京町、金丸、鳥飼校区）の医療関連施設を管轄する中核病院としてバックベッド機能を担っております。また、その情報交換ツールとして、ICT（とびうめネット、多職種連携ソフト）を活用し情報共有をすると共に準中核病院の入院ルール及びバックアップルールを策定し、在宅医療の充実強化及び地域全体を支える体制の構築に向けた取り組みを行っております。



久留米警察署からの協力依頼⑥

薬物事件などで任意捜査での尿検査を断り続けた場合には、最終的には裁判所の許可により強制的に尿を採取することとなります。

これは「強制採尿」と呼ばれる捜査方法で当院では、久留米警察署の依頼により強制採尿や強制採血の協力を昼夜を問わず行っております。

【強制採尿・強制採血 実績】

年度	件数
令和4年度	3件
令和5年度	4件
令和6年度	2件

地域住民への教育・研修⑦

令和6年度は地域住民向けの研修会を16回実施いたしました。令和7年度は11月までで31回実施しております。

令和6年度 JCHO 久留米総合病院 市民公開講座

市民のための健康教室

会場：当院 2 階講堂 時間：11:00 ～ 11:30
予約の必要はありません。お気軽にご参加ください。

5/14 火 「子宮癌の現状と予防について」 講師：院長 牛嶋公生	10/8 火 「糖尿病予防について」 講師：保健師 筒井美碧
6/14 金 「食中毒予防について」 講師：感染管理認定看護師 中村英里	12/11 水 「糖尿病を予防する食習慣」 講師：管理栄養士 小園裕子
7/17 水 「サルコペニア・フレイル」 (筋肉減少・虚弱)の予防 講師：理学療法士 佐藤憲明	1/9 木 「介護保険制度について①」 講師：介護支援専門員 山田孝典
9/10 火 「笑うが勝ち！楽しくイキイキ認知症予防」 ～毎日笑って認知症を予防しましょう～ 講師：認知症認定看護師 祁答院美和子	2/13 木 「介護保険制度について②」 講師：介護支援専門員 山田孝典

※講師の都合上、変更もありますのでご了承ください。

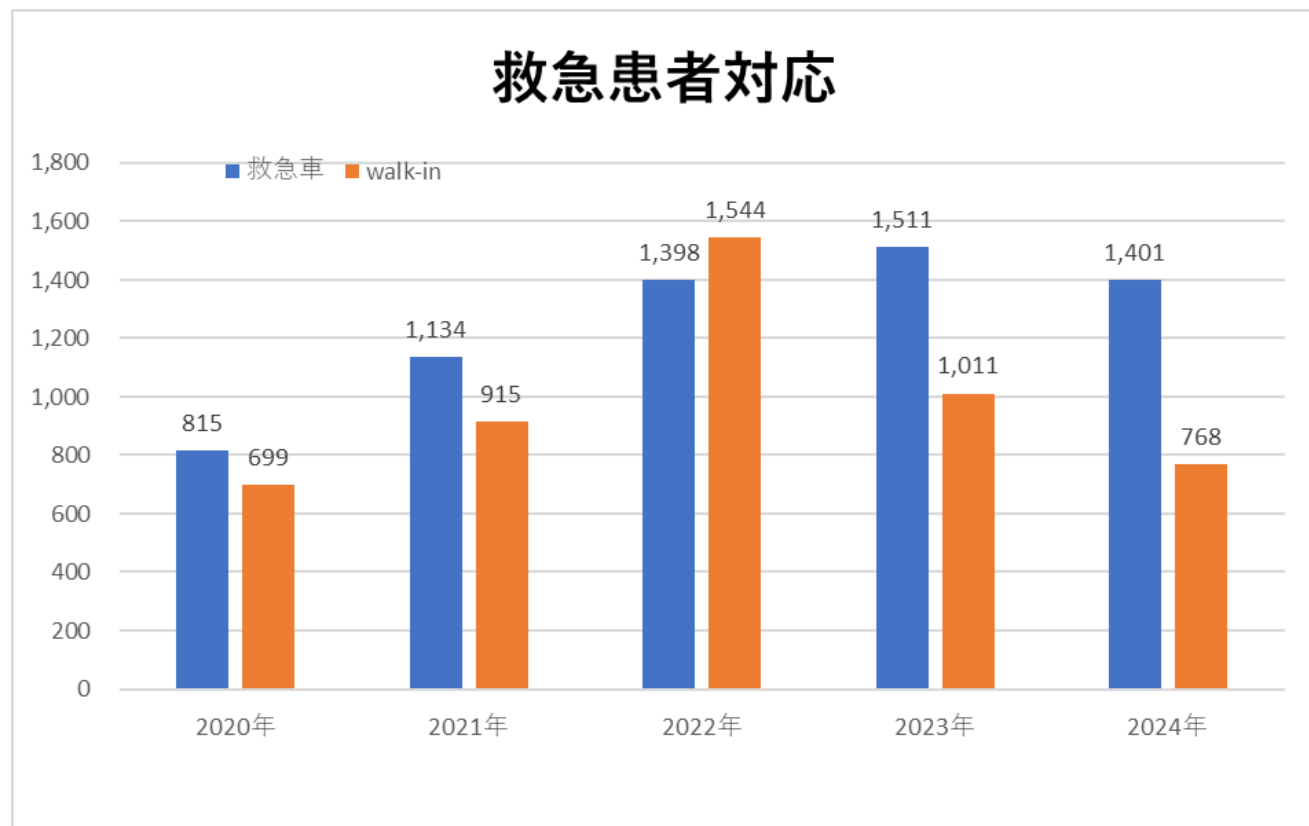
受講料無料 独立行政法人地域医療機能推進機構
JCHO 久留米総合病院 健康管理センター
TEL : (0942)-33-1211(代) <https://kurume.jcho.go.jp/>

救急患者受入推移⑧

令和6年度の救急搬送件数は1,401件と平成25年救急告示病院の指定を受けて2番目に多い件数となっております。また、救急応需率は当院の目標であります90%にわずかに届かない状況でした。

今後も地域の救急医療体制に協力していきます。

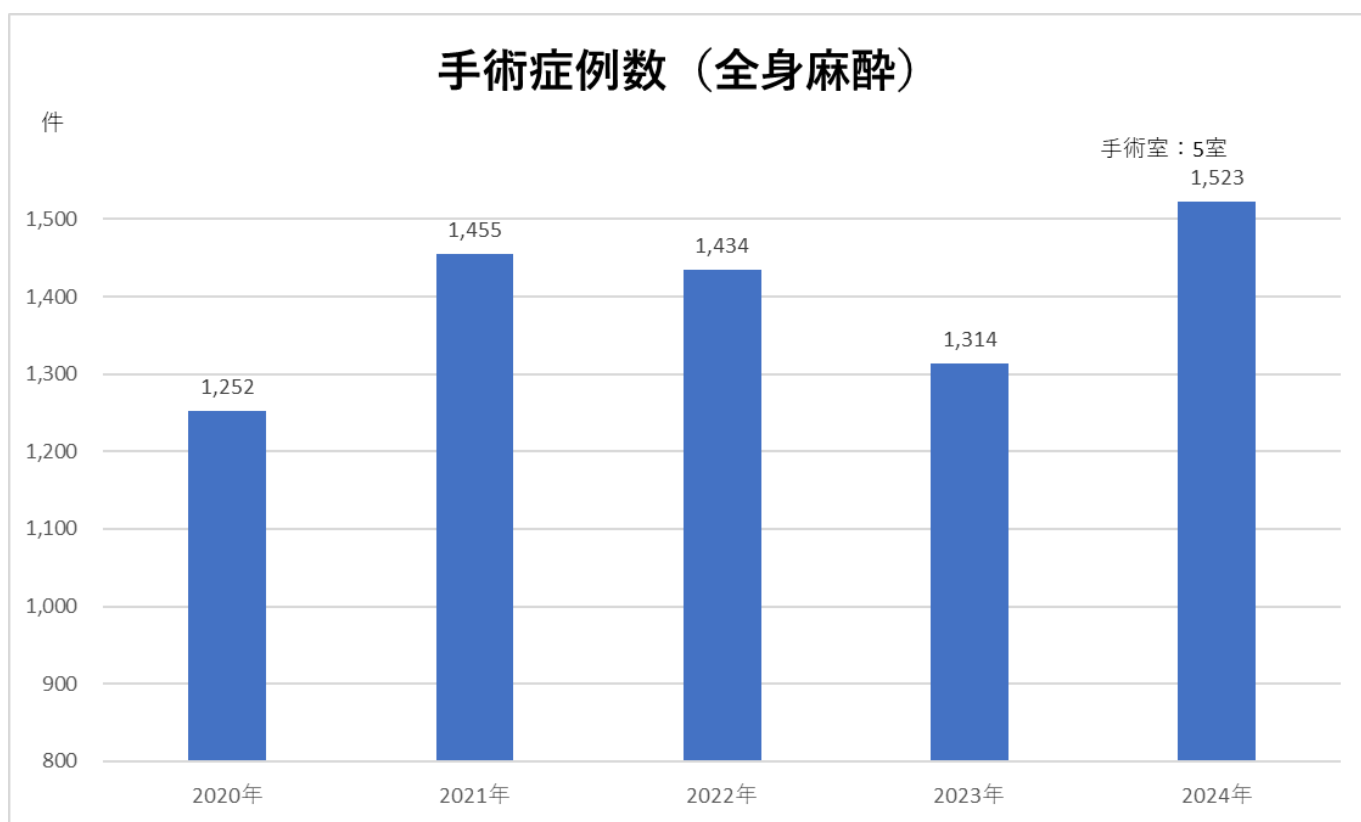
救急患者対応



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
救急車応需率	94.0%	93.5%	80.8%	90.4%	89.7%

手術症例件数(全身麻酔)推移⑨

令和6年度の全身麻酔による手術は1,523件で他の同等施設(200床未満)と比較しても非常に多い件数と言えます。



化学療法延件数⑩

当院では令和6年度延べ3,520件の化学療法を行っております。

治療中の方に体調の変化が生じた場合は電話相談、外来受診など24時間の対応できるシステムを備えています。また、免疫チェックポイント阻害剤や分子標的治療薬では他診療科、多職種との連携が必須です。チームを組んで診療にあたっています。

